

※保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育生活が可能な状態と  
なつてからの登園でありますようご配慮ください。

<医師用>

意見書

みぎわ 保育園長殿

児童氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

病名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので  
登園可能と判断します。

\_\_\_\_\_ 年 月 日

医療機関 \_\_\_\_\_

医師名 \_\_\_\_\_ 印 (またはサイン)

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹 (はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風しん (三日はしか)	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘 (水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺の腫脹が消失してから
結核		感染のおそれがなくなつてから
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで。	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること (抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う)
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
☆ 手足口病	手足や口腔に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普通食がとれること
☆ RSウイルス	呼吸器の症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
☆ 溶連菌感染症	発熱、発疹症状後、抗菌薬服用2日後まで	抗菌薬を飲んでから24~48時間を経過するまではお休みが必要